

高校生標語表彰式 第74回社会を明るくする運動

10月12日(土)、情報交流センターで第74回“社会を明るくする運動”で募集した高校生標語の優秀作品の表彰式が行われ、最優秀賞、優秀賞、優良賞を受賞した7人が参加しました。本市在校の方の優秀作品をご紹介します。(敬称略)

(高校生の部)

- 【最優秀】黒澤 夢菜(麻生高校)「あたたかい 声のかけ“愛” 助け“愛”」
- 【優秀】高橋 由麻(潮来高校)「せめるより 許す心と 思いやり」
- 【優良】平間 美愛(麻生高校)「送るまえ 確認しよう その言葉」
- 【優良】内山 咲姫(潮来高校)「気づこうよ 大事な人の SOS」
- 【優良】白鳥 佳月(麻生高校)「スマホ時間 へらしてふやそう コミュニケーション」
- 【優良】大竹 望美(麻生高校)「スマホより 家族の時間を 大切に」
- 【優良】草野 操(潮来高校)「はっきりと 言葉で伝える 大切さ」
- 【優良】近野 ななり(麻生高校)「助けよう 一声かける その勇気」



誰もがスポーツに親しむことができる場を みんなのスポーツフェスティバル

10月13日(日)、麻生体育館で「みんなのスポーツフェスティバル」が開催されました。当日は215人が参加し、ボッチャなどのニュースポーツ体験やパン食い競争、おー玉リレーや玉入れと、盛りだくさんの内容となりました。市内の中学生ボランティアと行方市高校生会にも、スタッフとしてご協力いただきました。市内女性団体等による焼き芋や美明豚の焼肉丼、けんちん汁などの「なめがたグルメ」が参加者に振る舞われ、食を通じた本市の魅力も再発見していただける機会となりました。

令和6年度多面的長期活動表彰 市内の守る会3組織

10月16日(水)、鹿行農林事務所管内の多面的機能支払交付金を活用した、各地域で農地資源保全を支える活動組織に対して長期活動表彰が行われました。本市からは、麻生東部の自然を守る会、梶無川自然を守る会、浜資源を守る会の3組織が、地域の水田などの維持管理を長年にわたり行ったことが認められ、表彰を受けました。



▲(写真左から) 麻生東部の自然を守る会永井副会長、梶無川自然を守る会小沼会長、浜資源を守る会羽成会長

全国的な家計のいまを把握する国の重要な調査です

令和6年 全国家計構造調査

あなたの回答で、見えてくる明日。

インターネット回答を是非ご利用ください!

詳しくは [全国家計構造調査](https://www.stat.go.jp/data/zenkokukakei/2024/campaign/index.html)

<https://www.stat.go.jp/data/zenkokukakei/2024/campaign/index.html>

地 域を題材とした持ち歌や新曲を披露 なめがた歌謡祭

10月12日（土）、文化会館で「なめがた歌謡祭」が開催されました。昨年の文化会館リニューアル後、2回目の開催となり、なめがた大使の奈良崎正明さんをはじめ、堀田晃平さん、Chayumuさん、川島有紀さん、滝すい子さん、男庭愛梨さんといった地元出身などのアーティストの方々が、地域を題材とした持ち歌や新曲を披露しました。また、特別ゲストとして、紅白歌合戦の出場経験もある岩本公水さんが出演し、会場は大いに盛り上りました。



▲（写真左から）よよよちゃん、松浦航大さん

協 賛企業特別賞を受賞 シン・いばらきメシ総選挙 2024

10月14日（月・祝）、水戸市の三の丸庁舎で行われた「シン・いばらきメシ総選挙 2024」で、本市からエントリーした「なめ天」が協賛企業特別賞であるキリンビール株式会社の「キリン賞」を受賞しました。「シン・いばらきメシ」とは、茨城県を代表する新たな食の観光資源の創出等を目的とし、県内44市町村から一般料理部門とスイーツ部門で合計80品がエントリーされました。10月12日（土）から3日間、三の丸庁舎の会場に出店し、「なめ天」とスイーツ部門でエントリーした「なめがた一番むらさきいもバウムクーヘン（ハードタイプ）」を多くの方に召し上がっていただきました。

昭 和から令和までの名曲を歌まねで披露 歌まねジョイントライブ in 行方市

10月14日（月・祝）、文化会館で「歌まねジョイントライブ in 行方市」が開催されました。令和の歌まねヒロインこと、よよよちゃんと、変幻自在の七色ボイスを持つ松浦航大さんが出演し、昭和から令和までの名曲を歌まねで披露しました。会場全体に美しい声を響かせ、満員の観客席からは大きな拍手と歓声が上がっていました。



子 ども虐待防止啓発活動を目的に オレンジリボンたすきリレー 2024

10月16日（水）、子ども虐待防止の啓発活動として「子どもを守ろう!オレンジリボンたすきリレー 2024」（主催：茨城県児童福祉施設協議会・茨城県要保護児童対策地域協議会）が実施されました。子ども虐待の防止の象徴であるオレンジリボンをたすきに仕立て、各市町村へリレーすることにより、子ども虐待防止への市民の関心を高めることや、関係機関の協働の大切さを訴えました。リレー実行委員からは、オレンジリボンが本市に贈呈されました。

夢を持つことの素晴らしさを伝えたい JFA こころのプロジェクト「夢の教室」

10月25日（金）、麻生東小学校の5年生を対象に「夢の教室」が開催されました。今回は、元オリンピック競泳日本代表の寺村美穂さんが「夢先生」として登壇し、これまでの経験から「夢を持つことの素晴らしさや、夢に向かって努力することの大切さ」を児童たちに伝えました。児童たちは、寺村さんのエピソードに驚いたり、笑ったりしながら熱心に耳を傾けていました。授業の最後には、将来の夢を記入する「夢シート」を作成し、自分の夢を発表しました。今後、この夢シートに夢先生が返事とサインを記入し、児童一人一人に届けられます。



▲元オリンピック競泳日本代表の寺村美穂さん



プロカメラマンによる写真講座 カメラマン山岸伸さん

10月26日（土）、情報交流センターでプロカメラマンの山岸伸さんの写真講座が開催されました。山岸さんは、数々の有名人のポートレート撮影を中心に活躍し、出版された写真集は400冊以上になります。これまでの作品を紹介しながら、撮った写真の背景やエピソード、写真に対する考え方や撮り方について語り、参加者は真剣に耳を傾けていました。講座の後半には、花火の撮り方講座が行われ、同日5年ぶりに開催された花火大会の撮影会を行いました。参加者は、講座で学んだことを生かしながら、熱心に花火の写真を撮っていました。

交通事故ゼロを目指して交通安全教室 行方市交通安全対策協議会

10月29日（火）、麻生東小学校の全校児童を対象に、交通安全教室が開催されました。交通安全教室は、行方市交通安全対策協議会が主催し、行方市交通安全母の会連合会、行方警察署の共催で実施しているものです。今回は、茨城県トラック協会にもご協力いただき、児童たちに大型トラックの運転席に座ってもらい、実際に死角を体験しました。また、トラックの内輪差に自転車が巻き込まれる様子を真剣な表情で見学していました。交通事故の危険性を間近で体験することで、交通安全の大切さを学ぶことができました。



花の寄せ植え教室 行方市花生産組合が協力 麻生幼稚園

10月30日（水）、麻生幼稚園において花や緑に親しみ、育てる機会を通じ、優しさや美しさを感じる気持ちを育むことを目的として、行方市花生産組合による親子寄せ植え教室が開催されました。市花生産組合の皆さん指導の下、ミニシクラメン・ビオラ・リーフ・チューリップ（球根）等を使い、子どもたちがそれぞれ好きな色の苗を選んで植え、親子で楽しく貴重な体験をすることができました。

第7回 -日本一超フラット100kコース-

IBARAKI 100K



ULTRA MARATHON *in ROKKO*

2025.3.9 sun

会場

茨城県行方市北浦公民館

311-1704 茨城県行方市山田 2175

お問い合わせ

茨城 100k ウルトラマラソン実行委員会事務局
(行方市経済部商工観光課内) 0291-35-2111

申込期間

2024

10/4 金 ▶ 12/15 月

大会公式サイト
はコチラから↓



主催：茨城 100k ウルトラマラソン実行委員会・行方市

共催：一般社団法人アントラーズホームタウン DMO・鹿嶋市・潮来市・神栖市・銚田市 後援：国土交通省霞ヶ浦河川事務所・茨城県・独立行政法人水資源機構

協力：行方警察署・鹿行広域事務組合消防本部・鹿行地区スポーツ推進委員協議会・一般財団法人茨城陸上競技協会・各ランニングクラブ・各自転車クラブ